

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 急速に進行し死亡率上昇 劇症型溶血性連鎖球菌感染症

皆さんは「人食いバクテリア」というセンセーショナルな報道を聞いたことがあるでしょうか。最近、NHKやさまざまな報道で「人食いバクテリア」、つまり劇症型溶血性連鎖球菌感染症（STSS）の増加が注目されています。

元々、この病気の恐ろしさはよく知られていましたが、2023年10月以降、溶血性連鎖球菌による咽頭炎が増加し、それに伴いSTSSも増加しています。昨年は941人と最多でしたが、今年は半年で977人と昨年の数を超えました。

実は日野病院でも、救急で来られた2名の患者さんがSTSSを疑われ、すぐに大学病院に送られました。残念ながら結果となつてしまいました。この菌はどこにでもいるにもかかわらず、どうしてこのように重症化するのでしょうか。残念ながら、そのメカニズムは未だ説明されていません。

STSSの最も恐ろしい点は、急速に進行するこ

とです。治療が遅れると死亡率が急上昇します。感染経路は、傷口からの侵入が最も多く44%、飛沫感染が9%、不明が35%です。傷口から侵入すると、皮膚、筋肉、全身へと数時間から数日単位で広がっていきます。

抗生剤の投与はもちろん必要ですが、感染した部位を外科的に切除しなければならぬことが多く、手足の切断も命には代えられません。少しの躊躇が命取りになる難しい疾患です。全身状態が悪化することが多いため、集中治療室での徹底的な管理が必要です。

### 予防するために 感染対策をしっかりと

では、予防はできないのでしょうか。

基本的な感染対策を地道に行うことが最も大切です。石鹸と流水での手洗い、咳エチケット、マスク、傷口に対しては小さな傷や擦り傷でも汚れを流水で流した後、消毒し、絆創膏や包帯で覆って感染を防ぐことです。感染が広がるようであ

れば、すぐに医療機関へ行きましょう。

ヒトと微生物との戦いは永遠に続きます。一つの感染症が終息しても、新たな感染症が発生したり、これまで少なかった感染症が増加したりします。

自然界ではさまざまなバランスをとりながら世界が成り立っています。崩れたバランスは人間の力ではすぐには修復できず、いくらかの犠牲を伴いながら元に戻るのを待たなくてはなりません。その間は個人が感染対策を意識して行うことが大切です。

